

## 【離島】「主な取組」検証票

基本施策	2-1	観光リゾート産業の振興		
施策	(1)	離島観光ブランドの確立		
主な取組 (施策名)	257	企業向けMICE研修実施の検討	離島振興 計画記載頁	80
対応する 主な課題	沖縄県の39の有人離島は、個性豊かな伝統文化や自然環境等の魅力を有しているが、一部の離島を除き県外での知名度が低く、入域観光客数の伸び悩みや、若者の慢性的流出等により、地域活力の低下が懸念されている。			

### 1 取組の概要(Plan)

取組内容	<p>国内・海外からの新たな需要を取り込むことで、市場の拡大を図り、離島をはじめ沖縄MICE産業の発展に繋がる各種事業を継続的・集中的に実施する。</p> <p>具体的には、以下の取組を行う。</p> <p>①沖縄へのMICE開催を推進するため、「誘致・広報活動」に係る事業を実施する。</p> <p>②沖縄へのMICE開催を推進するため、「開催支援」に係る事業を実施する。</p> <p>③沖縄へのMICE開催を推進するため、「受入体制整備」に係る事業を実施する。</p> <p>④MICE誘致アクションプランや大型MICE施設の詳細機能等に係る調査検討を実施する。</p>						
年度別 取組予定	24	25	26	27	28	29～	実施主体
	MICE誘致活動、開催支援、受入体制整備に関する支援・助成					→	県
担当部課	文化観光スポーツ部観光振興課						

### 2 取組の状況(Do)

#### (1) 取組の推進状況

(単位:千円)

平成24年度実績				
事業区分	予算	決算	活動内容	備考
戦略的誘客活動推進事業(戦略的MICE誘致促進事業)	5,551,816 (616,433)	4,860,509 (570,720)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・MICE開催地としての沖縄の魅力をアピールするため、国内外で開催されるMICE見本市・商談会への参加等の誘致・広報事業を行った。</li> <li>・沖縄へのMICE誘致の誘引材料とし、また沖縄で開催されるMICEの質の向上を図るため、沖縄県内で開催されるMICEに対して、芸能団やミス沖縄等の派遣等の開催支援事業を行った。</li> <li>・民間事業者等が実施する沖縄へのMICE開催を促進するため、離島をはじめ新たなMICEメニューの開発・発掘、受入体制整備などの優れた取組に支援を行った。</li> </ul>	
活動状況			活動実績値	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・MICE開催地としての沖縄の魅力をアピールするため、国内外で開催されるMICE見本市・商談会への参加等の誘致・広報事業を行った。</li> <li>・沖縄へのMICE誘致の誘引材料とし、また沖縄で開催されるMICEの質の向上を図るため、沖縄県内で開催されるMICEに対して、芸能団やミス沖縄等の派遣等の開催支援事業を行った。</li> <li>・民間事業者等が実施する沖縄へのMICE開催を促進するため、離島をはじめ新たなMICEメニューの開発・発掘、受入体制整備などの優れた取組に支援を行った。</li> </ul>			新たなMICEメニューの開発・発掘、受入体制整備などの取組に対する支援件数 10件	
推進状況	取組の効果			
<input checked="" type="checkbox"/> 着手 <input type="checkbox"/> 着手予定 <input type="checkbox"/> 未着手	・離島の観光資源等を活用した支援事業を採択し、各事業者が目標としていたモニターツアー実施やプロモーションツール作成は予定通り実施された。いずれの事業も継続性をもった内容なので、各事業者の自発的取組による今後のさらなるMICE受入体制の充実が期待される。			
※参考 21世紀ビジョン実施計画における評価				
<input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> やや遅れ <input type="checkbox"/> 大幅遅れ <input type="checkbox"/> 未着手	有識者のヒアリングや検討会を通じて、中期的にターゲットとすべきMICEの市場や地域を抽出するとともに、大型MICE施設を中心としたMICEエリアの候補地について、絞り込みを行った。			

(2) 今年度の活動計画

(単位:千円)

平成25年度計画			
事業区分	当初予算	活動内容	備考
戦略的MICE誘致促進事業	353,963	<ul style="list-style-type: none"> <li>・MICE開催地としての沖縄の魅力をアピールするため、国内外で開催されるMICE見本市・商談会への参加等の誘致・広報事業を行う。</li> <li>・沖縄へのMICE誘致の誘引材料とし、また沖縄で開催されるMICEの質の向上を図るため、沖縄県内で開催されるMICEに対して、芸能団やミス沖縄等の派遣等の開催支援事業を行う。</li> <li>・MICE関係事業者のみでなく、離島をはじめ一般の県民に向けたMICEの普及・啓蒙等の受入環境・体制の強化を行う。</li> </ul>	

(3) これまでの改善案の反映状況

プロモーション訴求対象や媒体の取捨選択、支援対象要件の絞込みを行うとともに、これら全体をまとめた事業スケジュールの見直しを図り、各活動の結果を連動させることにより相乗効果が得られるよう見直した。

(4) 主な取組に対応する成果指標の達成状況

No.	主な取組に対応する成果指標	基準値	現状値	H28目標値	改善幅	沖縄の現状
-	-	-	-	-	-	-
参考データ(離島分)		離島の現状			傾向	沖縄の現状
-	-	-	-	-	-	-
状況説明						

3 取組の検証(Check)

(1) 推進上の留意点(内部要因、外部環境など)

- ・単年度の予算措置によらない将来の開催を見据えた支援メニューの運用が課題。
- ・現状のMICE施設の規模と国内外のMICE市場とのミスマッチが発生している。
- ・離島含め県内における受入の基礎となるMICE対応人材の拡充や、参加者の満足度向上に繋がるインフラ整備等も課題。

(2) 改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

- ・プロモーション及び開催支援について、よりきめ細やかなスキーム作りを検討する余地がある。
- ・OCVBが加盟している国際会議団体(ICCA)のデータベース情報を活用する余地がある。
- ・受入体制について、MICE関連業者のみならず離島をはじめ一般県民のMICEに対する理解を得ると、さらに充実した受入れが可能となる。

4 取組の改善案(Action)

- ・MICE開催に関する多種多様なニーズに合わせ、プロモーション訴求対象や媒体の取捨選択、支援対象要件の絞りこみを行うとともに、これら全体をまとめた事業スケジュールの見直しを図り、県内MICE商談会やキーパーソン招聘など各活動の成果を組み合わせることにより相乗効果が得られるよう努める。
- ・単年度の予算措置によらない将来の開催を見据えた支援スキームを検討する。
- ・離島を含むMICE事業者による新たなMICE受入メニューの開発とともに、MICE開催に対する県民の認知度や協力体制を醸成を検討する。

## 【離島】「主な取組」検証票

基本施策	2-1	観光リゾート産業の振興		
施策	(1)	離島観光ブランドの確立		
主な取組 (施策名)	258	地域観光資源創出支援事業	離島振興 計画記載頁	80
対応する 主な課題	離島観光の国際化や多様化する観光ニーズに対応するためには離島の地域資源を生かした個性ある観光プログラムを多数創出していく必要がある。			

### 1 取組の概要(Plan)

取組内容	多様化する観光客の観光ニーズに対応するため、地域が主体となった新たな観光資源の創出事業等に対し支援を行い、地域における観光メニューの充実を図る。						
年度別 取組予定	24	25	26	27	28	29～	実施主体
	観光資源創出に関する地域事業への支援						県
担当部課	文化観光スポーツ部観光振興課						

### 2 取組の状況(Do)

#### (1) 取組の推進状況

(単位:千円)

平成24年度実績				
事業区分	予算	決算	活動内容	備考
地域観光資源創出支援事業	49,387	34,620	市町村、観光協会、NPOといった地域が取り組む新たな観光資源の創出及びこれらを活用した観光メニュー造成事業を公募し、実施委員会による審査の上、採択された5件の事業に、経費補助、アドバイザー派遣の支援を行った。	-
活動状況			活動実績値	
市町村、観光協会、NPOといった地域が取り組む新たな観光資源の創出及びこれらを活用した観光メニュー造成事業を公募し、実施委員会による審査の上、採択された5件の事業に、経費補助、アドバイザー派遣の支援を行った。			地域観光メニュー支援件数 5件 (うち離島関係 3件)	
推進状況	取組の効果			
<input checked="" type="checkbox"/> 着手 <input type="checkbox"/> 着手予定 <input type="checkbox"/> 未着手	予定どおりの採択事業数となり、計画どおり事業を執行することができた。採択された各事業は、アドバイザー支援、複数回のモニターツアー実施、取組に対する実施委員会でのアドバイス、実施主体を中心とした地域によるプロジェクト会議の実施などPDCAを繰り返し、事業のブラッシュアップを図ることで、より魅力的な観光メニューの造成に結びついた。			
※参考 21世紀ビジョン実施計画における評価				
<input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> やや遅れ <input type="checkbox"/> 大幅遅れ <input type="checkbox"/> 未着手	予定どおりの採択事業数となり、計画どおり事業を執行することができた。採択された各事業は、アドバイザー支援、複数回のモニターツアー実施、取組に対する実施委員会でのアドバイス、実施主体を中心とした地域によるプロジェクト会議の実施などPDCAを繰り返し、事業のブラッシュアップを図ることで、より魅力的な観光メニューの造成に結びついた。			

(2) 今年度の活動計画

(単位:千円)

平成25年度計画			
事業区分	当初予算	活動内容	備考
地域観光資源創出支援事業	47,004	事務局選定後、新たな観光資源創出事業を公募し、モデル事業として5事業程度採択する。モデル事業に対し事業経費の一部の補助、アドバイザーの派遣、採択事業のモニターツアーの実施、専門家で構成する委員会での事業のブラッシュアップを図る。さらに、地域の主体的な、新たな観光資源創出への取り組みを啓発するセミナー等を開催する。	-

(3) これまでの改善案の反映状況

モデル事業を選定し、モニターツアーの実施などに係る補助やアドバイザー派遣等による、着地型観光メニュー開発への支援を行う他、着地型観光メニュー開発を担う人材育成や地域の組織強化をはかるべく、地域の主体的な、新たな観光資源創出への取り組みを啓発するセミナー等を開催する。

(4) 主な取組に対応する成果指標の達成状況

No.	主な取組に対応する成果指標	基準値	現状値	H28目標値	改善幅	沖縄の現状
-	-	-	-	-	-	-
参考データ(離島分)		離島の現状			傾向	沖縄の現状
	地域資源を活用した新たな観光メニューの開発件数(離島分)	3件 (24年度)	-	-	→	-
状況説明						

3 取組の検証(Check)

(1) 推進上の留意点(内部要因、外部環境など)

平成24年度に採択された地域は、地域資源の活用方法、モニターツアーの情報発信の仕方等、観光メニューの開発に向けた事業の実施に苦勞していた。

(2) 改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

当該事業の効果の向上を図る上で、地域が主体となった観光(着地型観光)メニュー開発のノウハウを有した地域観光の担い手(リーダー)を育成し、組織体制の充実を図る必要がある。

4 取組の改善案(Action)

モデル事業を選定し、モニターツアーの実施などに係る補助やアドバイザー派遣等による、着地型観光メニュー開発への支援を行う他、着地型観光メニュー開発を担う人材育成や地域の組織強化をはかるべく、地域の主体的な、新たな観光資源創出への取り組みを啓発するセミナー等を開催する。

## 【離島】「主な取組」検証票

基本施策	2-1	観光リゾート産業の振興		
施策	(1)	離島観光ブランドの確立		
主な取組 (施策名)	259	地域観光の支援	離島振興 計画記載頁	80
対応する 主な課題	離島観光の国際化や多様化する観光ニーズに対応するためには離島の地域資源を生かした個性ある観光プログラムを多数創出していく必要がある。			

### 1 取組の概要(Plan)

取組内容	離島観光振興会議や市町村等との意見交換会を行い、地域の観光振興の方向性及び課題等を確認し、今後の取組みについて協議を行う。また必要に応じて沖縄県観光推進本部の下に設置した5つの幹事会において課題の解決に向けた検討及び協議を行い、県が支援すべき施策の実現及び事業の実施を図る。市町村へ専門的な知識を持つ観光まちづくりアドバイザーを派遣し、市町村が抱える課題又は問題に対し、助言及び指導を行う。						
年度別 取組予定	24	25	26	27	28	29～	実施主体
	市町村、地域観光協会等の主体的な観光振興の促進					→	県
	市町村の観光案内所の機能強化への支援						
担当部課	文化観光スポーツ部観光振興課						

### 2 取組の状況(Do)

#### (1) 取組の推進状況

(単位:千円)

平成24年度実績				
事業区分	予算	決算	活動内容	備考
地域観光支援事業	2,135	1,566	離島観光の振興を図るべく、離島観光振興会議を、宮古圏域で2回、八重山圏域で2回、久米島町で1回開催した。また市町村との意見交換会を、3地域(参画市町村数:7市町村)で開催した。観光まちづくりアドバイザーは2市で実施した。	-
活動状況			活動実績値	
離島観光の振興を図るべく、離島観光振興会議を、宮古圏域で2回、八重山圏域で2回、久米島町で1回開催した。また市町村との意見交換会を、3地域(参画市町村数:7市町村)で開催した。観光まちづくりアドバイザーは2市で実施した。			意見交換会開催件数8件	
推進状況	取組の効果			
<input checked="" type="checkbox"/> 着手 <input type="checkbox"/> 着手予定 <input type="checkbox"/> 未着手	離島観光振興会議は概ね計画通り開催した。市町村意見交換会は、開催希望の市町村を募るなどした結果3件となった。意見交換会を開催することにより、地域の観光振興の方向性及び課題等を直接確認することができ、県、市町村の今後の取り組み方針について認識の共有化が図られた。			
※参考 21世紀ビジョン実施計画における評価				
<input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> やや遅れ <input type="checkbox"/> 大幅遅れ <input type="checkbox"/> 未着手	離島観光振興会議は概ね計画通り開催した。市町村意見交換会は、開催希望の市町村を募るなどした結果3件となった。意見交換会を開催することにより、地域の観光振興の方向性及び課題等を直接確認することができ、県、市町村の今後の取り組み方針について認識の共有化が図られた。			

(2) 今年度の活動計画

(単位:千円)

平成25年度計画			
事業区分	当初予算	活動内容	備考
地域観光支援事業	5,290	離島観光振興会議や市町村等との意見交換会を行い、地域の観光振興の方向性及び課題等を確認し、今後の取組みについて協議を行う。 また必要に応じて沖縄県観光推進本部の下に設置した5つの幹事会において課題の解決に向けた検討及び協議を行い、県が支援すべき施策の実現及び事業の実施を図る。 市町村へ専門的な知識を持つ観光まちづくりアドバイザーを派遣し、市町村が抱える課題又は問題に対し、助言及び指導を行う。	-

(3) これまでの改善案の反映状況

<p>①離島観光振興会議、市町村との意見交換会の開催の他、全市町村を対象としたヒアリングを行い、県と市町村との連携強化、円滑な情報交換を図る。 ②観光まちづくりアドバイザー派遣の対象範囲に、一部事務組合、協議会、地域観光協会も含め、地域の観光まちづくりの活動促進を図る。</p>
---

(4) 主な取組に対応する成果指標の達成状況

No.	主な取組に対応する成果指標	基準値	現状値	H28目標値	改善幅	沖縄の現状
83	離島市町村の観光振興計画策定状況	7市町村 (23年度)	- (調査中)	11市町村	-	-
参考データ(離島分)		離島の現状			傾向	沖縄の現状
		-	-	-		-
状況説明	各地域で開催した離島観光振興会議、市町村等との意見交換会や、観光まちづくりアドバイザーを派遣しを通じて、地元自治体と地域観光関連事業者等との連携といった、地域主体の観光まちづくりに向けた体制が整いつつある。また、各市町村においては、観光による振興を重要視し、新たに観光振興計画を策定する動きも促進された。					

3 取組の検証(Check)

(1) 推進上の留意点(内部要因、外部環境など)

<p>本県観光産業が、今後とも持続的に発展していくためには、地域が主体となって独自の自然・文化・歴史など、多様性に富んだ観光資源を活用し住む人が誇りを持ち、旅行者が何度でも訪れたくなる魅力ある観光地づくりの取組を推進することが必要である。 県は、各地域における優位性のある観光資源を活用した観光地づくりの取組を促進・支援することで、沖縄県全体としての魅力の向上を図る必要がある。</p>
---

(2) 改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

<p>①地域の観光振興の方向性及び課題等の把握、今後の取組みについての協議を更に促進する必要がある。 ②地域の観光まちづくりを推進するうえで、市町村のみならず、広域的な取り組みを行う一部事務組合・協議会、地域観光協会の役割は重要であり、これら地域団体の取り組みを促進する必要がある。</p>
---

4 取組の改善案(Action)

<p>①離島観光振興会議、市町村との意見交換会の開催の他、全市町村を対象としたヒアリングを行い、県と市町村との連携強化、円滑な情報交換を図る。 ②観光まちづくりアドバイザー派遣の対象範囲に、一部事務組合、協議会、地域観光協会も含め、地域の観光まちづくりの活動促進を図る。</p>
---

## 【離島】「主な取組」検証票

基本施策	2-1	観光リゾート産業の振興		
施策	(1)	離島観光ブランドの確立		
主な取組 (施策名)	260	環境共生型観光地づくり支援事業	離島振興 計画記載頁	80
対応する 主な課題	離島において、国内外からの認知度を高める取組として、重要な観光資源である自然環境や風景・景観の保全・再生を図りつつ利活用を推進することが重要な課題である。 また、観光利用による観光資源の劣化が見られる地域においては、市町村や地域が主体となって行う自然環境等の保全に配慮した観光地づくりの強化が課題である。			

### 1 取組の概要 (Plan)

取組内容	市町村、地域の協議会等が行う自然環境等の保全に配慮した観光地づくりへの取組みを支援することにより、環境共生型観光を推進し、沖縄観光の持続的発展を図る。 具体的には、観光資源の保全及び活用計画の策定、人材育成、環境教育及び環境保全活動等を支援する						
年度別 取組予定	24	25	26	27	28	29～	実施主体
	市町村等が行う観光資源の利用ルール等の策定などへの支援					→	県
担当部課	文化観光スポーツ部観光振興課						

### 2 取組の状況 (Do)

#### (1) 取組の推進状況

(単位:千円)

平成24年度実績				
事業区分	予算	決算	活動内容	備考
環境共生型観光地づくり支援事業	45,216	23,253	国頭村にてエコトイレ2基とトイレを示した案内看板を設置し、恩納村では環境保全開発の講義と植生ハンドブックを作成した【一括交付金(ソフト)】	
活動状況			活動実績値	
国頭村にてエコトイレ2基とトイレを示した案内看板を設置し、恩納村では環境保全開発の講義と植生ハンドブックを作成した【一括交付金(ソフト)】			環境保全施設整備数 1件 活動支援 1件	
推進状況	取組の効果			
<input checked="" type="checkbox"/> 着手 <input type="checkbox"/> 着手予定 <input type="checkbox"/> 未着手	環境保全が必要な観光地へ対して適切な支援が行えたが、目標件数は達成できなかった。			
※参考 21世紀ビジョン実施計画における評価				
<input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> やや遅れ <input type="checkbox"/> 大幅遅れ <input type="checkbox"/> 未着手	環境保全が必要な観光地へ対して適切な支援が行えたが、目標件数は達成できなかった。			

(2) 今年度の活動計画

(単位:千円)

平成25年度計画			
事業区分	当初予算	活動内容	備考
環境共生型観光地づくり支援事業	49,055	市町村、地域の協議会等が行う自然環境等の保全に配慮した観光地づくりへの取組みを支援することにより、環境共生型観光を推進し、沖縄観光の持続的発展を図る。	

(3) これまでの改善案の反映状況

年度当初に市町村ヒアリングを実施し、事業の周知、意識啓発を図っている。

(4) 主な取組に対応する成果指標の達成状況

No.	主な取組に対応する成果指標	基準値	現状値	H28目標値	改善幅	沖縄の現状
-	-	-	-	-	-	-
参考データ(離島分)		離島の現状			傾向	沖縄の現状
	-	-	-	-		-
状況説明						

3 取組の検証(Check)

(1) 推進上の留意点(内部要因、外部環境など)

協働する市町村への事業スキーム、主旨等の周知不足が推進上の問題。市町村観光担当課の職員不足など組織的な問題もある。

(2) 改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

対象地域の要件は、これまで観光客が訪れることが少なかった地域やすでに観光地と整備されているが、観光客が増加し環境負荷を与えている地域など、環境保全の観点からは必要性は高いが限定的である。  
環境保全と利活用のバランスを保つ環境共生型観光の主旨に鑑み、これまで想定の環境保全に限定的な地域に加え、観光利用の利便性向上の観点からも対象地域を選定していく必要がある。

4 取組の改善案(Action)

・本年度は各市町村個別のヒアリングを実施しており、その中で事業内容の情報提供を行い主旨、スキーム等への理解不足の解決に取り組んでいる。  
・ヒアリングの中で、各地域個々の課題を聞き取り、現状事業スキームでの対応策検討、今後の事業スキーム修正への参考とする対応を行っている。



## 【離島】「主な取組」検証票

基本施策	2-1	観光リゾート産業の振興		
施策	(1)	離島観光ブランドの確立		
主な取組 (施策名)	261	エコリゾートアイランド沖縄形成事業	離島振興 計画記載頁	80
対応する 主な課題	離島において、国内外からの認知度を高める取組として、重要な観光資源である自然環境や風景・景観の保全・再生を図りつつ活用を推進することが重要な課題である。 また、観光利用による観光資源の劣化が見られる地域においては、市町村や地域が主体となって行う自然環境等の保全に配慮した観光地づくりの強化が課題である。			

### 1 取組の概要(Plan)

取組内容	沖縄県の観光資源の優位性を再認識し、これらの保全・育成に取り組む観光メニューの開発など、環境負荷の低減を図り、観光業界自らが当該取組を促進し、沖縄観光の新しいブランド力の構築を図る。						
年度別 取組予定	24	25	26	27	28	29～	実施主体  県
				→		→	
	観光事業者が行う環境保全の取組への支援						
担当部課	文化観光スポーツ部観光振興課						

### 2 取組の状況(Do)

#### (1) 取組の推進状況

(単位:千円)

平成24年度実績				
事業区分	予算	決算	活動内容	備考
エコリゾート アイランド沖 縄形成事業	-	-	平成24年度予算より環境生活部環境政策課所管「観光施設等の総合的エコ化促進事業」(事業内容①観光施設等の建物遮熱化②太陽光発電設備等システムの設置③電気自動者及び充電設備の導入④エコアクション21の取得など観光関連事業者が行う、環境や観光産業への波及効果が高いと認められる総合的・複合的な環境対策に対して補助)へ統合。	
活動状況			活動実績値	
平成24年度予算より環境生活部環境政策課所管「観光施設等の総合的エコ化促進事業」(事業内容①観光施設等の建物遮熱化②太陽光発電設備等システムの設置③電気自動者及び充電設備の導入④エコアクション21の取得など観光関連事業者が行う、環境や観光産業への波及効果が高いと認められる総合的・複合的な環境対策に対して補助)へ統合。			エコアクション21登録件数1件	
推進状況	取組の効果			
<input checked="" type="checkbox"/> 着手 <input type="checkbox"/> 着手予定 <input type="checkbox"/> 未着手	平成24年度予算より環境生活部環境政策課所管「観光施設等の総合的エコ化促進事業」において、エコリゾートアイランド沖縄形成事業目的でもある観光関連事業者が行う、環境や観光産業への波及効果が高いと認められる総合的・複合的な環境対策に対し支援を行っており、本事業において採択された事業者に対し、文化観光スポーツ部にて作成した観光事業者が環境に配慮した取組を促進するガイドブック「グリーンガイド2012」を配布しているところである。			
※参考 21世紀ビジョン実施計画における評価				
<input type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> やや遅れ <input checked="" type="checkbox"/> 大幅遅れ <input type="checkbox"/> 未着手	平成24年度予算より環境生活部環境政策課所管「観光施設等の総合的エコ化促進事業」において、エコリゾートアイランド沖縄形成事業目的でもある観光関連事業者が行う、環境や観光産業への波及効果が高いと認められる総合的・複合的な環境対策に対し支援を行っており、本事業において採択された事業者に対し、文化観光スポーツ部にて作成した観光事業者が環境に配慮した取組を促進するガイドブック「グリーンガイド2012」を配布しているところである。			

(2) 今年度の活動計画

(単位:千円)

平成25年度計画			
事業区分	当初予算	活動内容	備考
エコリゾート アイランド沖 縄形成事業	-	平成24年度予算より環境生活部環境政策課所管「観光施設等の総合的エコ化促進事業」(一括交付金)へ統合。ただし、県単事業等にて当部においても、今後、事業化等を検討する。	

(3) これまでの改善案の反映状況

平成24年度予算より環境生活部環境政策課所管「観光施設等の総合的エコ化促進事業」(事業内容①観光施設等の建物遮熱化②太陽光発電設備等システムの設置③電気自動車及び充電設備の導入④エコアクション21の取得など観光関連事業者が行う、環境や観光産業への波及効果が高いと認められる総合的・複合的な環境対策に対して補助)へ統合の上、実施しており、本事業において採択された事業者に対し、文化観光スポーツ部にて作成した観光事業者が環境に配慮した取組を促進するガイドブック「グリーンガイド2012」を配布しているところである。

(4) 主な取組に対応する成果指標の達成状況

No.	主な取組に対応する成果指標	基準値	現状値	H28目標値	改善幅	沖縄の現状
-	-	-	-	-	-	-
参考データ(離島分)		離島の現状			傾向	沖縄の現状
-	-	-	-	-	-	-
状況説明						

3 取組の検証(Check)

(1) 推進上の留意点(内部要因、外部環境など)

沖縄県内の観光事業者を対象としたアンケート調査によると、環境負荷低減の取組の必要性について、多くの事業者が「必要である」と回答しており、県全体でどの業種においても一致した見解となっているが、しかしながら、実際に取り組むべきかどうかについては、「積極的に取り組むべき」と回答した一方、「事業者が取り組むことは現実的には難しい」と回答したものも多く、見解が分かれる結果となっている。

(2) 改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

環境保全促進のため事業者が観光業者が環境に配慮した取組事項をとりまとめた「おきなわグリーンガイド2012」を、県内観光事業者等を対象に、シンポジウムやイベント等を開催、その周知を図りつつ、当該取組事項が実際に、環境保全の取組が実施されるよう促進する必要がある。

4 取組の改善案(Action)

「おきなわグリーンガイド2012」に掲載されている取組内容をシンポジウム、セミナー及び勉強会等の開催などにより周知を図りつつ、当該取組内容を進めたいくなるようなインセンティブの設定を有識者からなる検討委員会にて検討し、宿泊事業者等の観光事業者が広く環境保全に配慮した取組を実施する体制を構築する。

## 【離島】「主な取組」検証票

基本施策	2-1	観光リゾート産業の振興		
施策	(1)	離島観光ブランドの確立		
主な取組 (施策名)	262	エコツーリズム推進事業	離島振興 計画記載頁	80
対応する 主な課題	離島において、国内外からの認知度を高める取組として、重要な観光資源である自然環境や風景・景観の保全・再生を図りつつ利活用を推進することが重要な課題である。 また、観光利用による観光資源の劣化が見られる地域においては、市町村や地域が主体となって行う自然環境等の保全に配慮した観光地づくりの強化が課題である。			

### 1 取組の概要(Plan)

取組内容	自然環境に配慮し、安全性の高い高品質なエコツーリズムを推進する。 沖縄のエコツーリズム情報発信、地域コーディネーターの育成、認証制度の基礎調査等						
年度別 取組予定	24	25	26	27	28	29～	実施主体
	プログラムメニュー情報を紹介するWebコンテンツの作成					→	県
	コーディネーターの育成						
	品質保証制度の検討・構築・導入						
担当部課	文化観光スポーツ部観光振興課						

### 2 取組の状況(Do)

#### (1) 取組の推進状況

(単位:千円)

平成24年度実績				
事業区分	予算	決算	活動内容	備考
沖縄型 ニューツーリ ズム促進形 成事業(エコ ツーリズム 推進事業)	19,513 (2,255)	1,610	コーディネーター育成、WEBの刷新、研究大会による意識啓発活動。	
活動状況			活動実績値	
コーディネーター育成、WEBの刷新、研究大会による意識啓発活動。			情報発信支援数3件	
推進状況	取組の効果			
<input checked="" type="checkbox"/> 着手 <input type="checkbox"/> 着手予定 <input type="checkbox"/> 未着手	コーディネーター育成講座が実施できなかった地域があった。			
※参考 21世紀ビジョン実施計画における評価				
<input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> やや遅れ <input type="checkbox"/> 大幅遅れ <input type="checkbox"/> 未着手	コーディネーター育成講座が実施できなかった地域があった。			

(2) 今年度の活動計画

(単位:千円)

平成25年度計画			
事業区分	当初予算	活動内容	備考
沖縄型 ニューツーリ ズム促進形 成事業(エコ ツーリズム 推進事業)	11,367 (5,125)	WEB強化による情報発信、地域コーディネーターの育成、認証 制度の基礎調査等	

(3) これまでの改善案の反映状況

エコツーリズム推進の中核を成す沖縄エコツーリズム推進協議会との意見交換を行っている。
--

(4) 主な取組に対応する成果指標の達成状況

No.	主な取組に対応する成果指標	基準値	現状値	H28目標値	改善幅	沖縄の現状
-	-	-	-	-	-	-
参考データ(離島分)		離島の現状			傾向	沖縄の現状
	-	-	-	-		-
状況説明						

3 取組の検証(Check)

(1) 推進上の留意点(内部要因、外部環境など)

エコツーリズムサイトや市町村ごとの推進に対する体制に濃淡があり、全県的な取組に発展していない。
---

(2) 改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

沖縄エコツーリズム推進協議会の体制強化と、エコツーリズム推進に対するインセンティブの創出が必要。
--

4 取組の改善案(Action)

<ul style="list-style-type: none"><li>・認証制度への取り組みの中で、現況調査、課題抽出を行い関係者の意識向上へ向けたデータ整理を行う。</li><li>・認定制度には技術的蓄積と公平性が必要とされ、その中心としてNPO法人沖縄エコツーリズム推進協議会が想定される。今後は認定制度取り組みの中で協議会への要求条件を達成させ、体制強化と求心力を高める取り組みを行う。</li></ul>
--

## 【離島】「主な取組」検証票

基本施策	2-1	観光リゾート産業の振興		
施策	(1)	離島観光ブランドの確立		
主な取組 (施策名)	263	医療ツーリズム促進事業	離島振興 計画記載頁	80
対応する 主な課題	旅行者ニーズを踏まえた独自の着地型観光・滞在型観光の推進など、各離島の魅力やイメージを積極的に発信し、国内外からの認知度を高める取組が求められている。			

### 1 取組の概要(Plan)

取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・沖縄に適合した医療ツーリズムのあり方を確立するための先進事業者への支援。</li> <li>・医療ツーリズム促進の基盤構築のための人材育成(医療現場における通訳等)。</li> <li>・沖縄型医療ツーリズムの誘客のためのプロモーション活動。</li> </ul>						
年度別 取組予定	24	25	26	27	28	29～	実施主体
	医療ツーリズム のあり方に関する	医療ツーリズムに係る県内事業者に対する プロモーション活動及び人材育成支援					県
担当部課	文化観光スポーツ部観光振興課						

### 2 取組の状況(Do)

#### (1) 取組の推進状況

(単位:千円)

平成24年度実績				
事業区分	予算	決算	活動内容	備考
沖縄観光ブ ランド形成 事業 (医療ツー リズム促進事 業)	220,479 (62,433)	203,785 (57,129)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・沖縄に適合した医療ツーリズムのあり方を確立するための先進事業者への支援。</li> <li>・医療ツーリズム促進の基盤構築のための人材育成(医療現場における通訳等)。</li> <li>・沖縄型医療ツーリズムの誘客のためのプロモーション活動。</li> </ul>	
活動状況			活動実績値	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・沖縄に適合した医療ツーリズムのあり方を確立するための先進事業者への支援。</li> <li>・医療ツーリズム促進の基盤構築のための人材育成(医療現場における通訳等)。</li> <li>・沖縄型医療ツーリズムの誘客のためのプロモーション活動。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療ツーリズム推進事業者への支援件数3件</li> <li>・医療ツーリズム人材育成講座受講者数205名</li> </ul>	
推進状況	取組の効果			
<input checked="" type="checkbox"/> 着手 <input type="checkbox"/> 着手予定 <input type="checkbox"/> 未着手	・先進事業者支援については、4件実施予定していたが、尖閣諸島問題による日中関係の悪化に伴い、中国本土からの誘客に係るプロモーションを予定していた事業者1件の申請取り下げがあった。			
※参考 21世紀ビジョン実施計画における評価				
<input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> やや遅れ <input type="checkbox"/> 大幅遅れ <input type="checkbox"/> 未着手	・先進事業者支援については、4件実施予定していたが、尖閣諸島問題による日中関係の悪化に伴い、中国本土からの誘客に係るプロモーションを予定していた事業者1件の申請取り下げがあった。			

(2) 今年度の活動計画

(単位:千円)

平成25年度計画			
事業区分	当初予算	活動内容	備考
沖縄観光ブランド形成事業 (医療ツーリズム・プラットフォーム形成事業)	138,811 (42,875)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・沖縄型医療ツーリズム等に関連したプロモーションなどの企画案を募り、選定した上で助成する。</li> <li>・医療関連語学講座等の開催により、医療ツーリズム等の受入体制整備に向けた人材育成を行う。</li> <li>・国内外で開催される医療ツーリズム・ウェルネスツーリズム等の関連旅行博に出展し、沖縄型医療ツーリズム等のPRを行う。</li> </ul>	

(3) これまでの改善案の反映状況

旅行商品開発に取り組む先進事業者の支援を通じて、コンテンツの充実を図った。

(4) 主な取組に対応する成果指標の達成状況

No.	主な取組に対応する成果指標	基準値	現状値	H28目標値	改善幅	沖縄の現状
-	-	-	-	-	-	-
参考データ(離島分)		離島の現状			傾向	沖縄の現状
	-	-	-	-		-
状況説明						

3 取組の検証(Check)

(1) 推進上の留意点(内部要因、外部環境など)

・「医療ツーリズム(=medical tourism)」という場合、海外においては、治療目的の旅行を指すことが多く、海外からの誘客についてはプロモーションの際、訴求イメージの工夫、見直しが必要である。

(2) 改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

・沖縄県内においても、一部医療機関等において、治療に対応した外国人患者受入に取り組む動きもあるが、まだまだ「検診」等が主であり、治療に対応した医療機関及びそれを取扱う旅行会社等仲介業者自体が少ない。

4 取組の改善案(Action)

- ・治療目的の旅行だけではなく、沖縄の特性を生かしたウェルネス分野を含めて、沖縄型医療ツーリズムを国内外に訴求していく必要がある。
- ・治療目的や健康診断、検診などの医療ツーリズムにとどまらず、ウェルネス分野にまで支援事業者支援の範囲を拡大し、効果的に沖縄観光ブランドの形成を図っていく必要がある。
- ・医療ツーリズムに対応すべく、医療分野に係る外国語対応を意識しながら、一般外国人観光客の救急医療にも対応できるような受入体制の構築を図っていく必要がある。

## 【離島】「主な取組」検証票

基本施策	2-1	観光リゾート産業の振興		
施策	(1)	離島観光ブランドの確立		
主な取組 (施策名)	264	エンターテイメント創出・観光メニュー開発等支援事業	離島振興 計画記載頁	80
対応する 主な課題	旅行者ニーズを踏まえた独自の着地型観光・滞在型観光の推進など、各離島の魅力やイメージを積極的に発信し、国内外からの認知度を高める取組が求められている。			

### 1 取組の概要(Plan)

取組内容	国内外の観光誘客の拡大につながるエンターテイメントの創出や新たなMICEメニューの開発・発掘等の新たな着地型観光メニューについて、地域観光協会や民間企業等の自主的な取り組みを促進するため、公募により有望なプロジェクトを選定し集中的に支援する。						
年度別 取組予定	24	25	26	27	28	29～	実施主体
					→	→	県
	観光誘客につながるエンターテインメント企画への支援						
担当部課	文化観光スポーツ部観光振興課						

### 2 取組の状況(Do)

#### (1) 取組の推進状況

(単位:千円)

平成24年度実績				
事業区分	予算	決算	活動内容	備考
観光客受入体制整備事業(エンターテイメント創出・観光メニュー開発等支援事業)	554,633 (365,656)	507,970 (363,779)	商品開発型、商品市場化型、事業展開型と、助成対象事業を3種類に分類して助成事業を公募し、実施委員会における審査の上で、採択された事業に助成を行った。	
活動状況			活動実績値	
商品開発型、商品市場化型、事業展開型と、助成対象事業を3種類に分類して助成事業を公募し、実施委員会における審査の上で、採択された事業に助成を行った。			支援件数24件	
推進状況	取組の効果			
<input checked="" type="checkbox"/> 着手 <input type="checkbox"/> 着手予定 <input type="checkbox"/> 未着手	助成額が上限額よりも少ない採択事業もあったものの、採択事業数は当初予定よりも多くなったことから、結果的に概ね予算額に近い金額で執行した。			
※参考 21世紀ビジョン実施計画における評価				
<input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> やや遅れ <input type="checkbox"/> 大幅遅れ <input type="checkbox"/> 未着手	助成額が上限額よりも少ない採択事業もあったものの、採択事業数は当初予定よりも多くなったことから、結果的に概ね予算額に近い金額で執行した。			

(2) 今年度の活動計画

(単位:千円)

平成25年度計画			
事業区分	当初予算	活動内容	備考
観光客受入体制整備事業(エンターテイメント創出・観光メニュー開発等支援事業)	419,444 (299,722)	事務局選定後、助成事業を募集する。助成事業募集にあたって、観光客の少ない時期と言われる冬期において、観光客の誘客につながると思われる事業の提案を重視して採択する。また、夜のエンターテイメントに関する事業提案も重視するとともに、新たなMICEメニューの開発・発掘等の企画も募集する。	

(3) これまでの改善案の反映状況

観光客の少ない時期と言われる時期において、観光客の誘客につながると思われる事業の提案を重視して公募する予定。また、新規性や継続性、沖縄で実施する必要性のある事業を重視して、事業採択していく予定。

(4) 主な取組に対応する成果指標の達成状況

No.	主な取組に対応する成果指標	基準値	現状値	H28目標値	改善幅	沖縄の現状
-	-	-	-	-	-	-
参考データ(離島分)		離島の現状			傾向	沖縄の現状
-	-	-	-	-	-	-
状況説明						

3 取組の検証(Check)

(1) 推進上の留意点(内部要因、外部環境など)

・観光客来客数の少ない時期に実施する事業を採択し、助成することで、誘客を図る必要がある。  
 ・来場者数、参加者数は多い一方、県外観光客数は目標よりも少ない事業があり、県外観光客数を多く誘客するために今後の検討が必要である。

(2) 改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

・助成事業を募集するにあたって、観光客の少ない時期に県外観光客を誘客する事業について、重視していく。

4 取組の改善案(Action)

観光客の少ない時期と言われる冬期において、観光客の誘客につながると思われる事業の提案を積極に行う予定。また従来言われていた夜のエンターテイメントに関する事業提案も重視していく予定である。



## 【離島】「主な取組」検証票

基本施策	2-1	観光リゾート産業の振興			
施策	(1)	離島観光ブランドの確立			
主な取組 (施策名)	265	エデュケーショナルツーリズム推進事業	離島振興 計画記載頁	80	
対応する 主な課題	旅行者ニーズを踏まえた独自の着地型観光・滞在型観光の推進など、各離島の魅力やイメージを積極的に発信し、国内外からの認知度を高める取組が求められている。				

### 1 取組の概要(Plan)

取組内容	教育分野における沖縄観光の魅力の多様化・高度化を図るため、新たな教育旅行プログラムの商品化を支援するとともに、外国からの教育旅行の誘致に必要となる「学校交流」を実現する環境を整備するため、国内外の学生、教育関係者が互いの地域を訪れる相互交流活動を支援する。						
年度別 取組予定	24	25	26	27	28	29～	実施主体
	「新・教育旅行」創出に係る商品造成						県
担当部課	文化観光スポーツ部観光振興課						

### 2 取組の状況(Do)

#### (1) 取組の推進状況

(単位:千円)

平成24年度実績				
事業区分	予算	決算	活動内容	備考
沖縄観光ブランド形成事業 (エデュケーショナルツーリズム推進事業)	220,479 (49,979)	203,785 (43,972)	新たな教育旅行プログラムの商品化支援は、公募に対し14件の応募があり、12件を採択し支援した。 教育関係者との相互交流は、公募に対し12件の応募があり、6件を採択し、併せて台湾から2件を採択し支援した。	
活動状況			活動実績値	
新たな教育旅行プログラムの商品化支援は、公募に対し14件の応募があり、12件を採択し支援した。 教育関係者との相互交流は、公募に対し12件の応募があり、6件を採択し、併せて台湾から2件を採択し支援した。			新商品造成支援数12件 外国の教育関係者との相互交流回数8回	
推進状況	取組の効果			
<input checked="" type="checkbox"/> 着手 <input type="checkbox"/> 着手予定 <input type="checkbox"/> 未着手	新たな教育旅行プログラムの商品化を支援するとともに、国内外の学生、教育関係者が互いの地域を訪れる相互交流活動を支援することにより、教育分野における沖縄観光の魅力の多様化・高度化が図られるとともに、外国からの教育旅行の誘致に必要となる「学校交流」を実現する環境の整備が図られた。			
※参考 21世紀ビジョン実施計画における評価				
<input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> やや遅れ <input type="checkbox"/> 大幅遅れ <input type="checkbox"/> 未着手	新たな教育旅行プログラムの商品化を支援するとともに、国内外の学生、教育関係者が互いの地域を訪れる相互交流活動を支援することにより、教育分野における沖縄観光の魅力の多様化・高度化が図られるとともに、外国からの教育旅行の誘致に必要となる「学校交流」を実現する環境の整備が図られた。			

(2) 今年度の活動計画

(単位:千円)

平成25年度計画			
事業区分	当初予算	活動内容	備考
沖縄観光ブランド形成事業(エデュケーションal ツーリズム推進事業)	138,811 (34,607)	新たな教育旅行プログラムの商品化支援を公募により実施(10件程度予定) 教育関係者との相互交流を公募により(6件程度予定)	

(3) これまでの改善案の反映状況

<p>商品化支援については、支援を希望する企業に対し、個別支援体制の強化を図る。 相互交流事業については、学校側に対する交流支援機能の向上を図る。</p>
---

(4) 主な取組に対応する成果指標の達成状況

No.	主な取組に対応する成果指標	基準値	現状値	H28目標値	改善幅	沖縄の現状
-	-	-	-	-	-	-
参考データ(離島分)		離島の現状			傾向	沖縄の現状
	-	-	-	-		-
状況説明	支援した新たな教育旅行プログラムの商品化実現数は、支援対象企業等に商品化に向けた取組状況等をヒアリングする予定					

3 取組の検証(Check)

(1) 推進上の留意点(内部要因、外部環境など)

<p>商品化支援については、助成先の企業等の経営状況を踏まえつつ、事業効果を上げられるよう個別に支援する必要がある。</p> <p>相互交流事業については、本事業で交流した後、継続的な交流活動に繋げるための仕組み(仕掛け)を確立する必要がある。</p>
--

(2) 改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

<p>商品化支援については、熟度の高い商品企画の応募を増加させるため、支援を希望する企業に対し、申請前の時点から相談を受け、本事業の趣旨、支援スキーム等の理解を促進させるとともに、事業計画のブラッシュアップ等をアドバイスできる体制が可能か検証する。</p> <p>相互交流事業については、学校側の要望への対応に加え、基本的な交流ツールを準備し提供するなど、交流支援機能の向上が必要である。</p>
--

4 取組の改善案(Action)

<p>商品化支援については、支援を希望する企業に対し、申請前の時点から相談を受け、本事業の趣旨の理解を促進させるとともに、事業計画のブラッシュアップ等をアドバイスできる体制を確保し、より熟度の高い商品企画を支援できる状況となるよう取り組む。</p> <p>相互交流事業については、学校側の要望への対応に加え、基本的な交流ツールを準備し提供するなど、交流支援機能を向上させるとともに、本事業で交流した後、継続的な交流活動に繋げるため、教育機関担当部署と連携して取り組む。</p>
--

## 【離島】「主な取組」検証票

基本施策	2-1	観光リゾート産業の振興			
施策	(1)	離島観光ブランドの確立			
主な取組 (施策名)	266	着地型観光推進事業	離島振興 計画記載頁	81	
対応する 主な課題	旅行者ニーズを踏まえた独自の着地型観光・滞在型観光の推進など、各離島の魅力やイメージを積極的に発信し、国内外からの認知度を高める取組が求められている。				

### 1 取組の概要(Plan)

取組内容	着地型商品の造成に取り組む地域への支援等を通し、地域と連携した地域観光資源の活用を図り、情報発信を行う事により、多様化する観光客のニーズへの対応を図る。						
年度別 取組予定	24	25	26	27	28	29～	実施主体
	観光商品造成に関する地域セミナーやモデル事業の実施						県
担当部課	文化観光スポーツ部観光振興課						

### 2 取組の状況(Do)

#### (1) 取組の推進状況

(単位:千円)

平成24年度実績				
事業区分	予算	決算	活動内容	備考
沖縄観光客受入体制充実強化事業(着地型観光情報発信事業)	21,060 (10,325)	21,017 (9,743)	観光情報サイト内において、重点支援地域の特集ページを制作し掲載するとともに、OCVBの観光情報サイト「おきなわ物語」内に着地型旅行商品の特集コンテンツページを制作し掲載するなどして情報発信を行った。また、着地型観光講演会やセミナー等を実施した。	
活動状況			活動実績値	
観光情報サイト内において、重点支援地域の特集ページを制作し掲載するとともに、OCVBの観光情報サイト「おきなわ物語」内に着地型旅行商品の特集コンテンツページを制作し掲載するなどして情報発信を行った。また、着地型観光講演会やセミナー等を実施した。			セミナー等の開催 2回	
推進状況	取組の効果			
<input checked="" type="checkbox"/> 着手 <input type="checkbox"/> 着手予定 <input type="checkbox"/> 未着手	講演会やセミナー等を実施することにより、観光関係団体等の着地型観光に対する理解が深まるとともに、識者から直接手法や経験を聞くことで、事業者へのより実践的かつ実効的な効果が期待できる。当該事業は平成24年度で終期を迎え、一定の役割を果たしたことから事業終了とする。			
※参考 21世紀ビジョン実施計画における評価				
<input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> やや遅れ <input type="checkbox"/> 大幅遅れ <input type="checkbox"/> 未着手	講演会やセミナー等を実施することにより、観光関係団体等の着地型観光に対する理解が深まるとともに、識者から直接手法や経験を聞くことで、事業者へのより実践的かつ実効的な効果が期待できる。当該事業は平成24年度で終期を迎え、一定の役割を果たしたことから事業終了とする。			

(2) 今年度の活動計画

(単位:千円)

平成25年度計画			
事業区分	当初予算	活動内容	備考
		当該事業は平成24年度で終了	

(3) これまでの改善案の反映状況

当該事業は平成24年度で終了
----------------

(4) 主な取組に対応する成果指標の達成状況

No.	主な取組に対応する成果指標	基準値	現状値	H28目標値	改善幅	沖縄の現状
	-	-	-	-	-	-
	参考データ(離島分)	離島の現状			傾向	沖縄の現状
	-	-	-	-	-	-
状況説明						

3 取組の検証(Check)

(1) 推進上の留意点(内部要因、外部環境など)

着地型観光は地域によって取組状況に差があり、オール沖縄として着地型観光を推進するには各市町村の協力が必要であるが、各市町村によって濃淡があるため、とりまとめに時間を要する。
--

(2) 改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

当該事業は平成24年度で終了
----------------

4 取組の改善案(Action)

当該事業は平成24年度で終了となるが、当該事業により明らかになった課題や得られた実績等については検証を行うことにより、他の関連事業に活かして参りたい。
---